

ILC アクションプラン策定委員会 第 2 回 2019.12.18

観光・交流分野

想定される効果

目指す姿

それに向けて課題

準備・建設期

運用・成熟期

港湾・道路  
工事関係者による  
宿泊需要

物流・施設建設等、  
工事関係者来市に  
よる  
宿泊、飲食、買い  
物などの経済効果

研究所施設工事  
関係者の週末  
観光需要

内陸から沿岸部へ  
の直通列車を運行  
し、交流人口を増  
やす

内陸の観光協会及  
び、施設と連携し  
た観光ルートの特  
案

研究者の週末  
レジャー需要

研究者と家族の多  
くが海の幸や景観  
を求めに来る

運用期・成熟期  
際のイベントのあ  
り方(多く呼び込  
む)

マリンレジャーの  
需要を受け入れる

ビーチ(海)が好き  
な欧米人を受け入  
れる環境

海を活かす  
一関・奥州に勝て  
るもの！！  
一番近い海

シーフード

万人が快適に利用  
できる受け入れ環  
境

受け入れ  
環境  
充実

資源を活かす

底上げ

ヴィーガン等  
対応

ハラール等  
宗教者向け  
対応

多言語対応  
・施設  
・人  
・翻訳機

文化を知る

足洗い場  
(イスラム教徒)

大船渡への来方が  
わからない  
アクセスルート

レジャー型宿泊施  
設が少ない

寿司は好きだけど  
生魚以外の食べ方  
も

三鉄  
貸し切り  
運転体験  
車内放送

実は民宿の方がレ  
ジャー、バカンス  
を受け入れやすい

相性の良いワイン  
など

温泉はニーズが高  
い  
足湯も

民泊みたいな形式  
がうけるかもしれ  
ない

プロモーション動  
画など

受け入れは  
「慣れ」が大事  
相手をしているう  
ちに慣れる

関係者だけでなく  
市民も含めた勉強

内陸からのルート  
づくりが必要だと

三鉄さんだけでな  
く連携を進める

「建築関係者」  
・鉄道は大回り  
・大船渡線がないのが課題  
マリンレジャー（ヨット・クルーザーなど）今はない

「10 万人くらいの研究者の居住、来訪」  
・ビジネス・観光で求めるものが違う  
・市内の他の施設とのすみ分け  
・既存イベントを改変する  
・長期滞在（バカンス）の可能性→現状でも困らない（レジャー型）

宿泊は予約段階で客の属性がわかるが  
飲食店は困ると思う

・三鉄は、車内放送は英語も  
・改札でも

スマホの翻訳を使いこなす外国人  
ラグビーの経験は活かされる